



## 8月の行事予定

18日(水) 避難訓練  
 27日(金) 誕生会  
 そらキャンプ説明会  
 ~31日(火) 夏期保育  
 ※朝夕の職員体制上、お仕事の都合がつき  
 次第のお迎えにご協力ください。

## 9月の行事予定

4日(土) クラス親睦会  
 6日(月) キャンプごっこ  
 8日(水)~9日(木) そらぐみキャンプ  
 13日(月) 避難訓練  
 17日(金) 誕生会  
 22日(水) おひろめ会(運動会)

※行事については新型コロナウイルス感染症等の状況により変更する場合があります。

## にじ組が選ぶ！流行ったあそび

布で作ったパンやハムで、サンドイッチ作りを楽しみました。食パンの上に好きな順番で具材をのせます。具材は、トマト、きゅうり、レタス、目玉焼き、ハム、チーズの6種類です。オリジナルのサンドイッチができあがると「美味しいね」と顔を見合わせ、にっこり笑いながら食べる真似をしていました。ごっこあそびを通して友だちとの関わりも楽しむ子どもたちです。

石田 未来



## 「やってみようで新たな発見を」

今年度は「主体性」をテーマに取り組んでいますが、「主体性」という言葉だけでは、実際にどうということなのか難しいこともあります。主体性とは、自分でやりたいことを決め、失敗しても自分で克服することだと保育雑誌に書いていました。

私は保育士になり今年で5年目になりますが、あそびを考える際は、子どもたちが安全に楽しく遊べることを考えてきました。その中で、安全に遊ぶためのルールを子どもたちに伝えたり、「こうして遊ぶんだよ」と年齢に応じた配慮を考えたりして、子どもたちをあそびに誘うこともありました。中には、危険を回避するために大人の促しが必要な場面もあります。しかし、全てを保育者が促してしまえば、子どもたちの“やってみよう”“こうしよう”という気持ちが十分に育つことができないと思います。また保育の中で、“こうしてほしい”という思いであそびを投げかけていきますが、子どもの姿は違うこともあります。そんな時は、保育者の思いではなく、子どもの姿を受け止めながら、子どもたちが主体となって自分で考えながらしようとする場面を大切にしたいです。その為には、子どもたちの今の姿を見ながら、「こういうことだったらやるのではないか」「ここまでできたのだから次はこんなことをやってみるのではないか」など予想をしていきながら、それに合わせたあそびの設定、素材や環境を考え、友だち同士であそびを広げていき、新たな発見ができる経験を増やしていきたいです。

河本 真里

### つき組編

#### 今月の製作

折り紙で今が旬のスイカを折りました。少し斜めに折るところが難しい様子でしたが、船で作ったスイカにクレヨンで種をかき皮の緑を塗りました。美味しそうなスイカができあがりました。



いただきます

#### 七夕飾りをはやしたよ

子どもたちの短冊を飾った笹を、はやしました。みんなの願いが叶いますようにと思いを入れて、手を合わせてお願いする様子や、煙が高く舞い上がる姿を、じっと見つめていました。みんなの思いが届くといいですね。



願い事届くかな



ここにカブラを  
並べてみよう

とよた保育園ホームページ URL とQRコード  
<https://toyota.okayamakodomokyukai.jp>



# 今月のベストショット川柳～夏のあそび編～

## そら組



しゃぼん玉

計ってできるか

分量を

## ほし組



気持ちいい

とろとろは

夏感じ

## つき組



心地の良い

ひんやり

水風船

## にじ組



飛んでいけ

高いところへ

ふわふわと

## ゆき・はな組



中に何かが入ってる

不思議な袋

触ると冷たい

## やま組の窓から ～セミ取り日記～

毎日網を片手にじーっと木を見上げて、セミを捕まえることが日課になっている子どもたちと職員。職員の休憩中もセミの話題になることが多々あり、セミ取りのレクチャーをした日もあります。また、園長先生の机のカレンダーには捕獲数が記入されています。

そんな中、毎日網でセミを捕まえていたのですが、高いところにいるセミを網で捕まえてもすぐに逃げてしまうということで、園長先生お手製のアイテムが登場。長い棒にペットボトルがついたもので、これがなんと大ヒット！どの職員でもかなりの確率で捕まえることができ、ねらいを定めた時のドキドキ感と、逃げられた時の悔しさを職員も童心にかえて味わっています。やま組でのセミ話はまだまだ続きそうです。



## ～編集後記～

いよいよ夏本番ですね。毎日暑い日が続きますが、この時期ならではのあそびといえば水あそびです。しゃぼん玉、水風船、水鉄砲、色水などいろいろなあそびがありますが、子どもたちは思い思いに楽しんでいます。色水では色の変化を楽しんだり、しゃぼん玉ではどのようにしたら割れにくいしゃぼん玉ができるか、大きく膨らませることができるのかなどといった気づきや発見を、子どもたち同士で話をしながら楽しんでいます。



## 職員紹介 ～私の好きな場所～

毎日通勤途中の道に、両脇から生えている木が伸び、トンネルのようにになっている場所があります。その間から差し込む陽の光が綺麗で、雨が降れば木から雨粒が窓に落ちてきます。(秋にどんぐりが落ちてきたときは驚きました。) 短い距離ですが、天気や季節でいろいろと変化するこの場所が好きで、そこへ向かうと、気持ちが穏やかになれたり心地良さを感じられたりできるので、今はここが私の好きな場所です。ちなみに、先日私の息子も、その場所の写真を撮って「ここ好きなんよ」と見せてくれました。



岡村 里恵

私の好きな場所は、家のリビングです。コロナが発生する前までは、家族で外へ出かけることが大好きでした。最近では、家族でリビングで過ごす何気ない時間が、いつの間にか退屈から充実へと変わってきています。家族が集まるリビングが私と同じように家族皆もホッと一息つける居場所であって欲しいなと願っています。



大森 彩香

